

2008 年度

科目名 文化財行政論	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 笠井 敏光
授業テーマ 文化財保護行政の現状と課題		
授業の概要と目標 日本における文化財保護制度の概要と諸問題を考える。 発表や議論を含めた双方向で、ビデオなど映像を使用した立体的な講義をめざす。		
評価方法 出席状況とレポート・発表などによって総合的に評価する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 講義中に紹介する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1、文化財とは 2、文化財保護法と保護行政 3、指定制度と登録制度 4、有形・無形・民俗文化財 5、史跡名勝天然記念物 6、伝統的建造物群 7、埋蔵文化財の制度と行政システム 8、埋蔵文化財の現状と課題 9、遺跡の整備と活用 10、建造物の保存と活用 11、文化財の普及と市民生活 12、文化財と文化遺産 13、文化財の活用事例（1） 14、〃（2） 15、〃（3） 文化財の概念とその対象 保護法の内容とその変遷、保護行政の実態 文化財の指定と登録の違いについて 対象と実例 対象と実例 対象と実例 埋蔵文化財の制度概要と実際の運用 埋蔵文化財が抱えている課題 遺跡の整備方法と活用施策 建造物の保存そして活用の実態とは 文化財と市民生活との関わり 文化財と文化遺産は何か違うのか 積極的な活用事例を検討する 〃 〃		